

法人名 NPO 法人ヒューマンシップコミュニティ

事業計画書

事業名	ケアする人をケアする場所づくり事業
種類	特定分野事業ネーミング枠 (浦和競馬SDGsプロジェクト ジェンダー平等推進支援事業)
1. 事業の目的	<p>コロナ禍で疲弊する介護・医療職、自宅で介護する家族、ヤングケアラーなどのホッとする心・体の休まる場所づくりを通して、心身の健康をサポートする。県内の数か所で実施。</p> <p>○在宅介護においても、コロナによる閉じこもりの影響で認知症・フレイルの進行がみられ家族の介護負担が増えている。</p> <p>○ヤングケアラーを含め介護する家族が、要介護者とともに出かけ、安心して休める場所が少ない。</p> <p>○特にヤングケアラーは相談する場所もわからず、孤立していることが多い。ヤングケアラーも女性が多い。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>(1) 法人の設立目的・これまでの活動・成果</p> <p>①設立目的：地域のヘルスプロモーション推進。 心とからだの健康を総合的にプロデュースしていくヘルスケア団体です。健康づくり、生きがい作り、街（地域）づくり支援。</p> <p>②活動：今までの活動</p> <p>○医療・介護の専門職で、埼玉県内の団地の中で、「いきいき相談室」としてタニタの体組成計を使い、セミナー、カフェ、マルシェなどをやりながら、健康相談を6年継続。</p> <p>○埼玉県のシラコバト助成金もいただき、活動した。</p> <p>○埼玉県・さいたま市後援、医療・介護専門職の講師による健康サポーター養成講座を1年で12回開催。</p> <p>○上尾市の助成金により、介護予防リーダー研修・健康講座を実施。</p> <p>○現在オンラインで医師による医療・介護分野の講演会を実施。</p> <p>③成果</p> <p>○厚労省老人保健健康増進事業三菱総合研究所作成「団地を元気にするガイドブック」編集委員、掲載される。</p> <p>○体組成計測定者が延べ数百人を数える</p> <p>○埼玉県内にての講演会多数。</p> <p>○現在、コロナ渦においてもそれぞれの地域では自主的に小規模で継続実施されている</p> <p>(2) 課題</p> <p>①いまだに、介護・医療の担い手は臨床においても、在宅においても女性が圧倒的に多く、負担がかかっている。その女性たちにとって気兼ねなく心身をケアする場所は少ない。</p>

	<p>②介護・医療職、介護する家族、ヤングケアラーへの癒しの場が少ない。地域の方々に介護・医療を女性男性関係なく自分事として実感し、行動へ移すための啓蒙活動は少ない。</p> <p>(3) 重要性等 これからの高齢化は、一部の人への負担ではなく地域一体となって取り組まなくてはならない。</p>
<p>3. 具体的な事業内容</p>	<p>(1) カフェ・マルシェ・ワークショップ（同時開催）</p> <p>① 介護・医療職、介護する家族、ヤングケアラーへの癒しの場。地域の交流の場。介護・健康の相談の場</p> <p>② 2か月に1回開催</p> <p>③ 介護・医療職、介護する家族、ヤングケアラー、地域住民</p> <p>④ 埼玉県内レンタルスペースで実施。</p> <p>⑤1回50名程</p> <p>⑥マルシェ、作品展示で介護・医療職、介護家族、地域の方々に協力を頂く。 マルシェ・作品展示を通して地域での活躍、生きがいの場の提供。</p> <p>○当 NPO 法人で実施していた「いきいき相談室」を継続し、心身の健康を目的とした相談会を行う。</p> <p>○医療・介護の専門職・心理カウンセラーによる介護・健康相談は毎回のイベント時には同時開催</p> <p>○ワークショップでは、コスメ・ネイル、フラワーアレンジメントやスイーツづくり、お料理教室などを実施予定。</p> <p>(2) セミナーの開催</p> <p>①セミナーでは、医療介護知識の向上に加え、医療介護を地域問題としてとらえる啓蒙の場とする。</p> <p>②2か月に1回開催</p> <p>③ 介護・医療職、介護する家族、ヤングケアラー、地域住民</p> <p>④ 浦和コミュニティセンターなど</p> <p>⑤ 100名程</p> <p>⑥ 医師・歯科医師・フリーアナウンサーなど講師予定</p>
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>(1) カフェ・マルシェ・ワークショップ（同時開催）</p> <p>① 開催場所確定 チラシ作成 マルシェ依頼</p> <p>② 開催日1か月前までに企画確定</p> <p>③SNS などネットでの告知 開催地近隣へのチラシ配布、設置依頼</p> <p>(2) セミナー</p> <p>①セミナー会場確定 講師スケジュール調整 チラシ作成</p> <p>②開催日1か月前までに企画確定</p> <p>③SNS などネットでの告知 開催地近隣へのチラシ配布、設置依頼</p>

	<p>○セミナー講師予定</p> <p>①ヤングケアラー問題について フリーアナウンサー 町亞聖 ②介護ストレスケア 心理カウンセラー 佐野幸子 ③認知症と食生活 医師 稲島司 ④嚥下と口腔ケア 歯科医師 澁谷英介 など</p> <p>集会では、要介護者同行・参加でも安心して楽しめる体制を整える。</p> <p>○事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="488 521 1342 947"> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> <tr> <td>7月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>セミナー①</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>ワークショップ&マルシェ</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>セミナー②</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ワークショップ&マルシェ</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>セミナー③</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>ワークショップ&マルシェ</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>セミナー④</td> </tr> </table> <p>○広報計画について</p> <p>当法人のFacebook、ホームページで告知チラシ(各回 200 枚)を作成 介護施設、病院、公共施設、商店街に設置</p>	時期		7月		8月	セミナー①	9月	ワークショップ&マルシェ	10月	セミナー②	11月	ワークショップ&マルシェ	12月	セミナー③	1月	ワークショップ&マルシェ	2月	セミナー④
時期																			
7月																			
8月	セミナー①																		
9月	ワークショップ&マルシェ																		
10月	セミナー②																		
11月	ワークショップ&マルシェ																		
12月	セミナー③																		
1月	ワークショップ&マルシェ																		
2月	セミナー④																		
<p>5. 事業の実施体制</p>	<p>○事業の実施について</p> <p>①総括責任者 佐野幸子②連絡責任者 近野英一・佐野幸子 ③現場責任者 近野英一④経理担当者 蓮博美 ⑤広報担当者 酒井大輔・志甫直哉</p>																		
<p>6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか</p>	<p>○学生、介護施設、障害者施設にもマルシェ・作品展示に参加してもらう。(学生は県内の高校・大学などにて協力確認)</p> <p>○地域に根差した活動として、その街のひとに運営にも参加していただく。活動費も含めて地域の人を作る活動にしていきたい。</p> <p>○講座の幅を広げて、参加費をいただき、経費にまわす。</p>																		
<p>7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること</p>	<p>① これまでのいきいき相談室の経験を活かし、助成金を活用し今までの活動よりも様々なニーズに応えるイベントに実施。</p> <p>② 医師・歯科医師・心理カウンセラー・薬剤師・看護師・介護福祉士・介護支援専門員・理学療法士・管理栄養士・美容師・写真家などの専門職で構成されている。</p> <p>③ 様々な専門職がいることにより、偏りなく柔軟な対応が可能。他に先駆け地域活動を行ってきた実績に加え、多職種連携により地域福祉を推し進める。</p> <p>④ 今までも介護・健康相談、ワークショップは開催しており、実</p>																		

	<p>績があり、ノウハウもある。埼玉県内外に介護・医療の活動をする人のネットワークがあり、複雑化する地域課題に柔軟に対応が可能である。</p>
--	---